

教科目名 地域計画学 (Regional Planning)

学科名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 2年 (教育プログラム 第4学年 科目)

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 亀野辰三

授業の概要			
地域計画とは、都市を中心として農村およびリゾート地域などを含めて地域全体の開発計画が、各地域地区の特性を活かすとともに、国土全体から見てバランスのとれたものであるように計画することをいう。そこで、本講義では、地域計画の基本と内外の歴史を述べ、近年必須となっている住民参加型地域づくりの手法等、計画策定に際して必要となる基礎的知識を解説する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (E1), JABEE 目標 (d2a)	
(1) 地域計画の基礎的知識が理解できる。(定期試験)			
(2) レポート課題を通して地域の問題を発見し、解決の方策を提示できる。(レポート)			
(3) プレゼンテーション能力を向上させる。(プレゼンテーション)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1. 序論		【理解の度合い】
2	(1) 地域と地域計画 (2) 地域を取り巻く環境変化	地域計画の全体像を理解する。 わが国を取り巻く時代の潮流を理解する。	
3	2. 全国総合開発計画		
4~6	(1) 戦後復興期の地域計画 (2) 第一次全総から国土のグランドデザインまで	戦後復興期から最近の全国総合計画にいたるまで、各々計画の歴史・内容・課題を理解する。	
7	3. 地域の計画 (1) 過疎地域の計画	過疎地域の現状を理解する。 市町村合併が行われる背景と現状を理解する。	
8	前期中間試験		
9	試験問題の解説/ 4. 参加型の地域づくり	分からなかったところを理解する	
9	(1) 交通社会実験	住民参加型地域づくりの現状と手法を学ぶ。	
10	(2) パブリックインボルブメント		
12	5. 中心市街地の活性化 (1) まちづくり三法と中心市街地活性化法	まちづくり三法の概要と中心市街地活性化法について学ぶ。	
13	(2) 大規模小売店舗立地法	大規模小売店舗立地法について学ぶとともに、駐車容量の算出法を理解する。	
14			
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	地域に関するレポートを小論文形式で課すので、受講者は日頃から新聞等を読んで時事問題に興味を持つようにしておくこと。		【総合達成度】
教科書	日本まちづくり協会編、『地域計画第2版』、森北出版		
参考図書			
関連科目	交通システム工学(専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)~(3)について定期試験とレポートで評価する。 総合評価 = 0.7 × (定期試験の成績) + 0.3 × (レポート) 総合評価が 60 点以上を合格とする。		